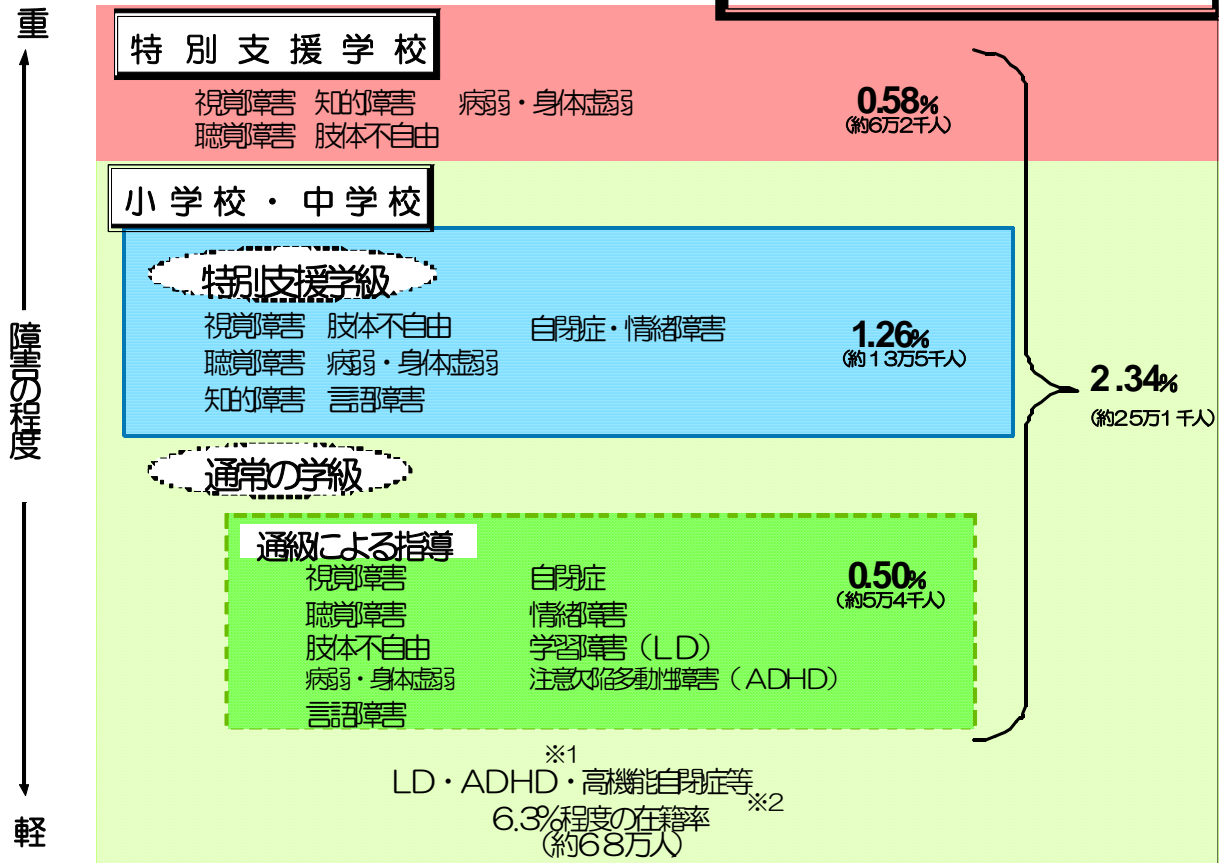


# 特別支援教育の現状

## 特別支援教育の対象

### 特別支援教育の対象の概念図 〔義務教育段階〕

義務教育段階の全児童生徒数 1074万人



※1 LD (Learning Disabilities) : 学習障害

ADHD (Attention-Deficit / Hyperactivity Disorder) : 注意欠陥多動性障害

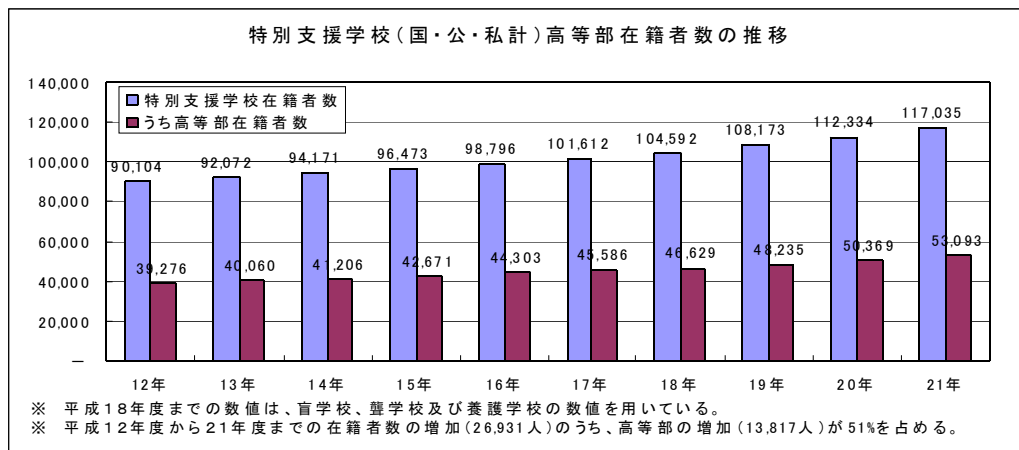
※2 この数値は、平成14年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものでない。

(※2を除く数値は平成21年5月1日現在)

① 特別支援学校の現状（平成21年5月1日現在） ※平成18年度までの数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の数値を用いている。

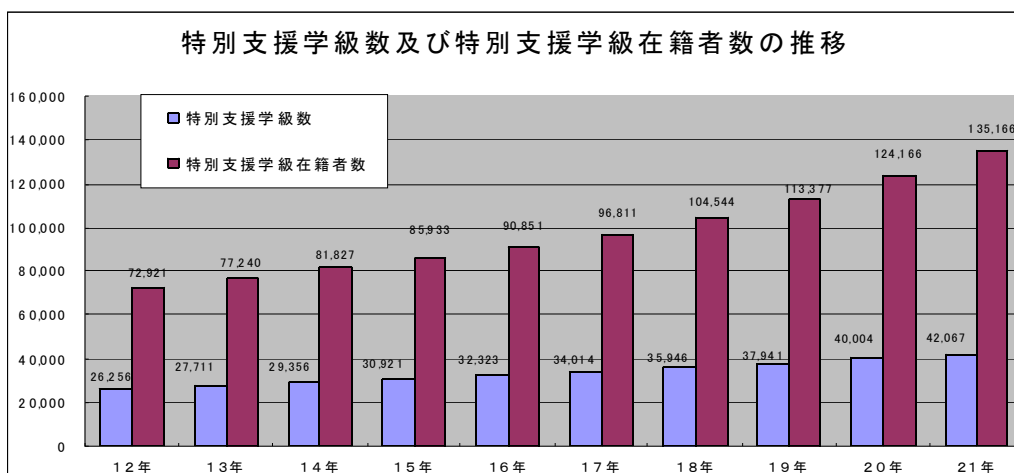
（平成21年5月現在の状況）

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	計
学校数	83	116	632	295	129	1,030
在籍者数	5,798	8,461	102,084	31,086	18,926	117,035



② 特別支援学級の現状（平成21年5月1日現在）

特別支援学級は、障害の比較的軽い子どものために小・中学校に障害の種別ごとに置かれる少人数の学級(8人を上限)である。



③ 通級による指導の現状（平成21年5月1日現在）

通級による指導は、小・中学校の通常の学級に在籍している障害の軽い子どもが、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障害の状態等に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態である。

